



令和5年も残り1か月 「全力で継続を」

校長 浅見 正史

校庭のイチョウの木も黄金色に染まり、北風が木の葉を散らす季節を迎えようとしています。先月は、素晴らしい歌声の合唱コンクール、みんなできれいな街づくりをしたレッツ・ジョイン！クリーン活動、東中をもっとよくし隊の方々による除草作業とたくさんの生徒、保護者、地域の皆様に参加していただきありがとうございました。また、2年生の鎌倉校外学習、1年生の上野浅草校外学習も無事に終わることができ、協力して班別行動に取り組む姿に大きな成長を見ることができました。生徒のみなさんには、これらの行事に加え、この経験をこれからの学校生活に生かしてください。

生徒のみなさん、今年も残り1か月となり、やり残したことはありませんか。4月より自分磨きに努力をし、成長できた人も多いと思いますが、さらに成長するために二つの言葉を送ります。

一つ目は『全力で挑戦する』です。全力でやってもできなかった場合、「〇〇が足りなかった」と課題が見え、次にどこを頑張ればよいのかがわかります。全力を出して失敗することもあるでしょう。失敗から多くのことを学ぶことで、次への挑戦へとつながります。また、「次回はやる」と次に先送りしている人はいませんか。本気で全力を出すだけが成長という喜びをつかみ取ることができます。

二つ目は『継続は力なり』です。毎日、昨日より1%頑張ると一年間で成果はどれくらいになると思いますか。計算すると1.01の365乗、答えは元の約38倍です。逆に昨日より1%頑張らなかったとすると99%を一年間ずっと続けていくと、0.99の365乗、答えは元の約0.03倍になってしまいます。99%と101%のその差は気持ちかもしれません。その1%に毎日、全力で挑戦することが大切だと思います。

12月は、1、2年生は期末テストも終わり、冬休みに向けて気分は上々でしょう。3年生は受験に向けて正念場です。それぞれの立場は違いますが、残り1か月、学習や家での手伝い、ボランティア活動などにも、「自分磨き」に全力で継続していきましょう。

<3年生にエールを送ります>

10月中旬から3年生全員を対象に校長面接を実施しています。校長室を面接会場とし、たいへん緊張している様子ですが、礼儀正しく、さすが東中生と感じます。質問は、志願理由や中学校での生活・学習など様々ですが、どの生徒も自分なりの考えをしっかりと答えています。参考までに、中学校生活の一番の思い出は、合唱コンクール、体育祭、修学旅行、部活動の順に多く、学級や集団が一致団結し、目的・目標に向かって取り組み、互いに競い、そこに感動があったと答えています。ここまで3年生が東中を引っ張ってくれたと実感しています。「3年生！ありがとう。この冬も頑張れ」